

伊丹市地球温暖化対策推進実行計画

平成18年度結果報告書

伊丹市市民部環境保全課

伊丹市地球温暖化対策推進実行計画（平成18年度実績値）

伊丹市では、平成15年に、「伊丹市環境保全率先行動計画」（平成11年度から14年度）を統合する形で、国の「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、地球温暖化防止に向けて取り組んでいます。

本計画は、平成13年度を基準年度とし、市の事務・事業で電気・ガス・ガソリンなどを使用することに伴い排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの総排出量を平成19年度までに6%以上削減することを目標としています。また、平成18年5月に改正し、指定管理者制度導入に伴う対象範囲の整理、基準年度の排出量見直しをしました。

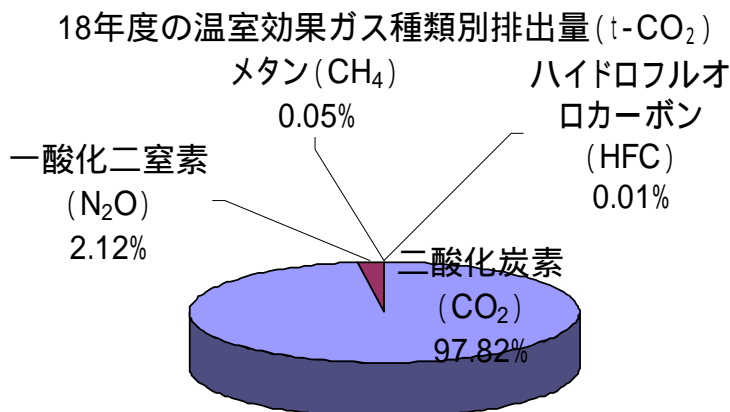
平成18年度の実施結果は、下表のとおりで、二酸化炭素換算の排出総量は、33,607 t - CO₂です。平成13年度の基準年度値と比べ、14.3%減少となっています。

種類別にみると、二酸化炭素が全体の97.82%を占めています。（表1「温室効果ガスの種類別排出量」）。

表1. 温室効果ガスの種類別排出量

項目	13年度 (基準)	15年度		16年度		17年度		18年度	
	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)
二酸化炭素(CO ₂)	38,165	34,847	8.7	37,985	0.5	38,471	-0.8	32,874	13.9
一酸化二窒素(N ₂ O)	1,011	868	14.2	865	14.4	768	24.1	714	29.4
メタン(CH ₄)	17	17	2.7	17	2.3	18	-5.6	17	1.4
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	3	9	-172.8	9	-177.0	4	-26.2	3	-2.4
合計	39,196	35,740	8.8	38,876	0.8	39,261	-0.2	33,607	14.3

注) 各年度の合計欄の値は、各項目の排出量の小数点以下を端数処理しているの一致しません。



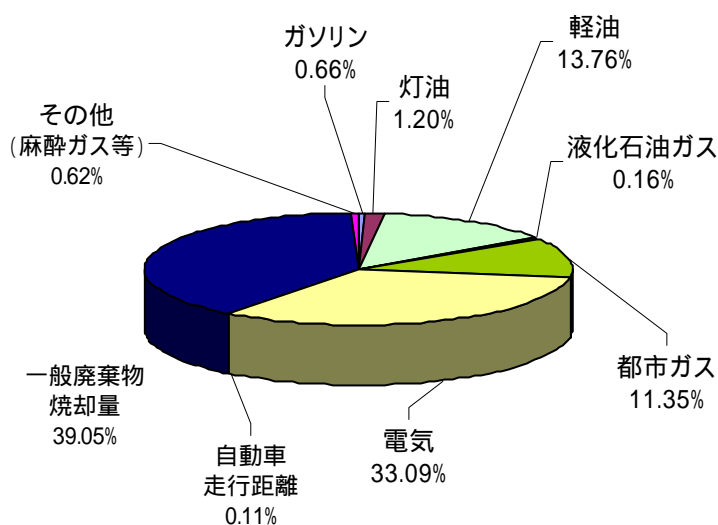
原因別では、一般廃棄物焼却量の割合がもっとも多く全体の 39.05%を占めており、次に電気使用量の 33.09%、軽油の 13.76%、都市ガスの 11.35%の順となっています。(表 2 . 温室効果ガスの原因別排出量およびその割合)

表2. 温室効果ガスの原因別排出量およびその割合

項 目	13年度(基準)		15年度		16年度		17年度		18年度	
	排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)	排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)	排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)	排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)	排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)
ガソリン	285	0.73	232	0.65	233	0.60	225	0.57	220	0.66
灯油	621	1.59	554	1.55	548	1.41	493	1.26	405	1.20
軽油	4,640	11.84	4,766	13.34	4,775	12.28	4,681	11.92	4,625	13.76
A重油	4	0.01	2	0.01	2	0.01	3	0.01	0	0.00
液化石油ガス	70	0.18	70	0.20	69	0.18	66	0.17	53	0.16
都市ガス	4,138	10.56	4,286	11.99	4,369	11.24	4,565	11.63	3,814	11.35
電気	10,780	27.50	10,949	30.64	10,950	28.17	11,101	28.28	11,121	33.09
自動車走行距離	40	0.10	37	0.10	37	0.10	36	0.09	36	0.11
一般廃棄物焼却量	18,283	46.64	14,511	40.60	17,560	45.17	17,845	45.45	13,125	39.05
その他(麻醉ガス等)	334	0.85	331	0.93	332	0.85	247	0.63	207	0.62
合 計	39,196	100	35,740	100	38,876	100	39,261	100	33,607	100

注) 各年度の合計欄の値は、各項目の排出量の小数点以下を端数処理しているので一致しません。

18年度の温室効果ガスの原因別排出量



各項目の温室効果ガスの削減目標率は、それぞれ表3のとおりです。ガソリン、灯油、A重油、液化石油ガス、都市ガス、自動車走行距離、一般廃棄物焼却量、その他（麻酔ガス等）の項目は削減目標を達成しました。

表3. 温室効果ガス項目別削減率

項目	13年度 (基準)	15年度		16年度		17年度		18年度			19年度 目標 削減率 (%)
	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率 (%)	達成 状況	
ガソリン	285	232	18.6	233	18.1	225	21.2	220	22.7		10.7
灯油	621	554	10.8	548	11.8	493	20.7	405	34.8		1.8
軽油	4,640	4,766	-2.7	4,775	-2.9	4,681	-0.9	4,625	0.3	×	5.9
A重油	4	2	43.0	2	43.0	3	30.4	0	100.0		1.8
液化石油ガス	70	70	-0.1	69	1.5	66	6.4	53	24.6		1.8
都市ガス	4,138	4,286	-3.6	4,369	-5.6	4,565	-10.3	3,814	7.8		2.5
電気	10,780	10,949	-1.6	10,950	-1.6	11,101	-3.0	11,121	-3.2	×	1.4
自動車走行距離	40	37	7.8	37	7.2	36	9.3	36	9.5		2.4
一般廃棄物焼却量	18,283	14,511	20.6	17,560	4.0	17,845	2.4	13,125	28.2		5.0
その他(麻酔ガス等)	334	331	0.6	332	0.6	247	26.1	207	37.9		0.0
合計	39,196	35,740	8.8	38,876	0.8	39,261	-0.2	33,607	14.3		6.0

注1) 達成状況の欄には、既に達成した項目は、達成が困難と考えられる項目は×で表しています。

注2) 各年度の合計欄の値は、各項目の排出量の小数点以下を端数処理しているため一致しません。

平成18年度の温室効果ガスの削減率が上がった主な原因のひとつは、平成13年度基準年と比べて一般廃棄物中のプラスチックの量が大幅に減少しているためです。また、都市ガスの使用量も平成17年度までは増加傾向でしたが、減少に転じています。伊丹市における平成19年度目標値、温室効果ガスの削減率6パーセント以上について、平成18年度で達成しましたが、今後も、目標を達成し、さらなる削減に向けて計画を推進していきます。